

“あたりまえ”の生活を地下から支える

ながおかの下水道



編集：広報WG『縁の下のチカラボ』by 長岡市下水道課

水がきれいになる仕組み

家庭や工場から排出された汚水は、下水道管や中継ポンプ場を通して、下水処理場に運ばれます。処理場では、いくつかの処理を経て、きれいな水へと生まれ変わり川や海へ放流されます。

《長岡中央浄化センターでの処理の流れ》

沈砂池



下水道管を流れてきた汚水は流入ゲートを通り、大きなごみと砂を取り除きます。

最初沈殿池



汚水をゆっくり流し、この間に汚泥を底に沈めます。悪臭防止のため池の上はフタで覆っています。(滞留時間1.5～2時間)

エアレーションタンク



ブロウから空気を送り攪拌します。この間に、微生物(活性汚泥)は水中の有機物を食べ、汚れを分解します。(滞留時間6～8時間)

最終沈殿池

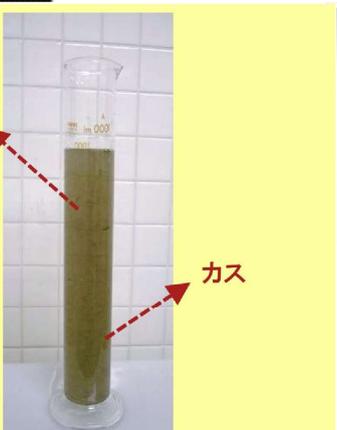
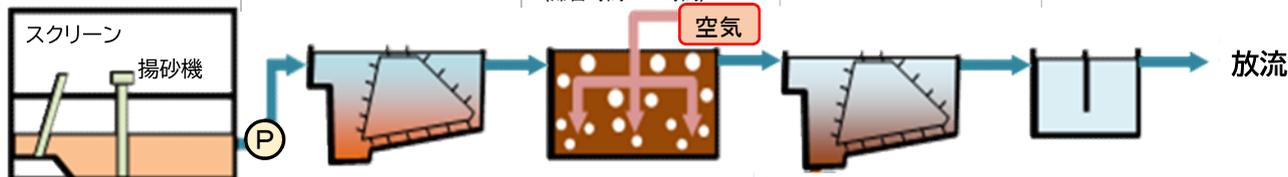


再び水をゆっくり流し、汚れを食べた微生物(活性汚泥)を沈めます。きれいになった上澄水(処理水)を集めます。(滞留時間2～3時間)

塩素混和池



処理水は塩素で消毒殺菌し、河川へ放流します。



汚れた水

沈砂池

最初沈殿池

エアレーションタンク

最終沈殿池

塩素混和池

下水道施設の老朽化対策

供用開始から長期間経過した下水道施設は、老朽化が進み破損や機能低下などが問題となっています。

みなさんが安心して下水道を使えるよう、劣化状況を把握し計画的に施設の改築・更新を行っています。

【下水処理場の設備更新】

【下水道管の更生】

【マンホールポンプの更新】



数字でみる長岡市の下水道

約135,000m³/日

市内下水処理場の日平均処理水量。
※25mプール約230杯分

525箇所

マンホールポンプ場の
箇所数

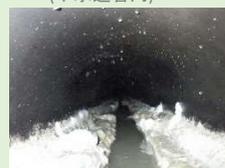
(数値は令和3年度末現在)



みなさんへのお願い

家庭で出る油、野菜くずなどは排水口に流さないでください。また、髪の毛やペットボトルのキャップ、タオル、紙おむつなども流さないでください。これらを流すと、ご家庭の排水設備や下水道管が詰まったり、下水処理場の機能低下、破損の原因となります。下水道はみなさんの快適な生活環境を守る大事な施設です。一人ひとりが心がけ大切に使いましょう。

油が固まり下水道管が流れが悪くなった様子
(下水道管内)



(公共汚水ます内)

